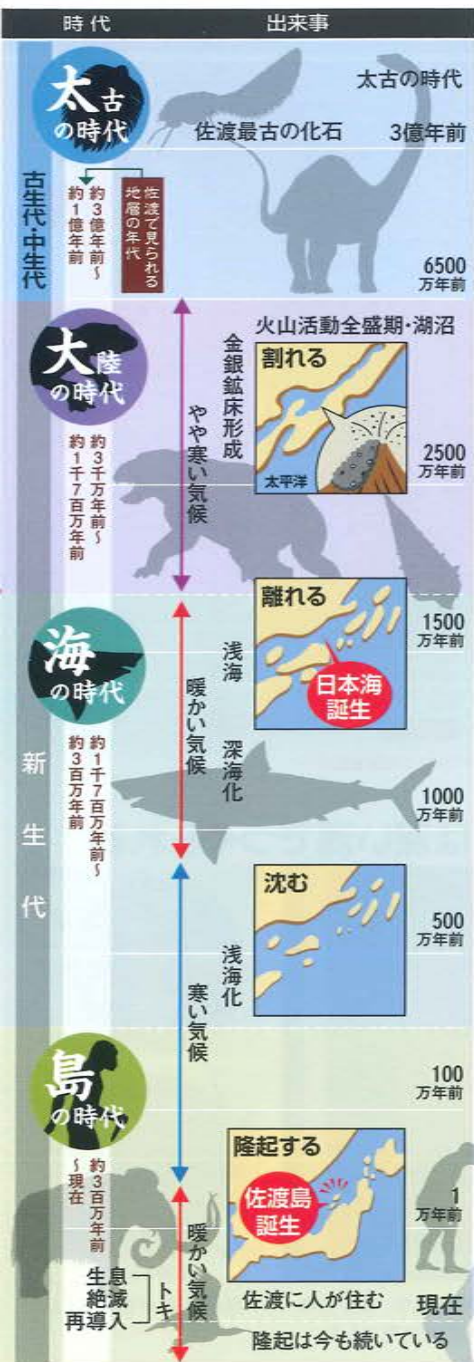


# 二見半島・沢根エリアの歴史(地史)

※歴史年表を見ながら読んで下さい。

現在の佐渡島になるまでの歴史年表



## Theme 日本海の変遷を辿る 海底散歩と、 隆起地形

大陸の東縁に生じた亀裂が徐々に広がり、亀裂の中に海水が入り込んで日本海は誕生しました。日本海は誕生から現在に至るまで1700万年もの長い歴史を有し、海洋環境は目まぐるしく変化しました。沢根エリアにはこのような日本海の変遷を物語る地層と化石がたくさん残されています。ルートを巡りながら、日本海のお話を楽しんでみてはいかがでしょうか？

一方、二見半島・沢根エリアでは佐渡島の隆起運動を実感できるルートがあります。隆起波食台が、高所に引き上げられた段丘地形は、現在5段の面が確認できます。海底から顔を出し、島となった佐渡島の成長の記録が、この二見半島にはつきり残されています。

# ジオパークおすすめ 二見半島・沢根散策スポット

## ① 沢根だんご

金山で栄えた相川。掘り出された金は中山峠を越え、沢根を通って小木に運ばれました。中山峠の茶屋で一服するとき、大人気だったお菓子がこの「沢根だんご」です。



## ② 鶴子銀山

鶴子銀山は相川金銀山以前に開発された佐渡の4大鉱山の1つです。露頭掘りやひ追い掘り、坑道掘りなど、当時の最先端技術で鉱脈を掘り進みました。その痕跡が山の奥にひっそりと残されています。



## ③ 沢根のカキ

真野湾のカキ養殖のメッカは沢根地域です。栄養豊富な海で2年間じっくりと成長させたカキは、冬から秋にかけて旬を迎え食卓を豊かにする食材の王様です。※写真は「さわたカキまつり」の様子



## ④ 台ヶ鼻灯台

真野湾と七浦海岸を分ける二見半島の先端に台ヶ鼻灯台があります。きれいな夕日が水平線に沈み夕闇が迫る頃、真野湾に一際明るい光を放つ灯台です。近くには古墳も発見されました。



# 大陸の時代 1 国生み神話は 2000万年前の 出来事?



日本や佐渡の生みの親であるイザナギとイザナミの分身が夫婦岩とされています。この緑色をした夫婦岩は2000万年前の火山灰が固まってできたものです。ということは、国生み神話は2000万年前の出来事なのでしょうか？ いえいえ...

# 2 かわいい猫は怒っている!?



猫の背中毛が逆立っている？ しっぽが手前、視線は沖の方を見ているのかも？ 火山性の猫は気性が荒いのもかもしれません。※人によって見え方は違います。



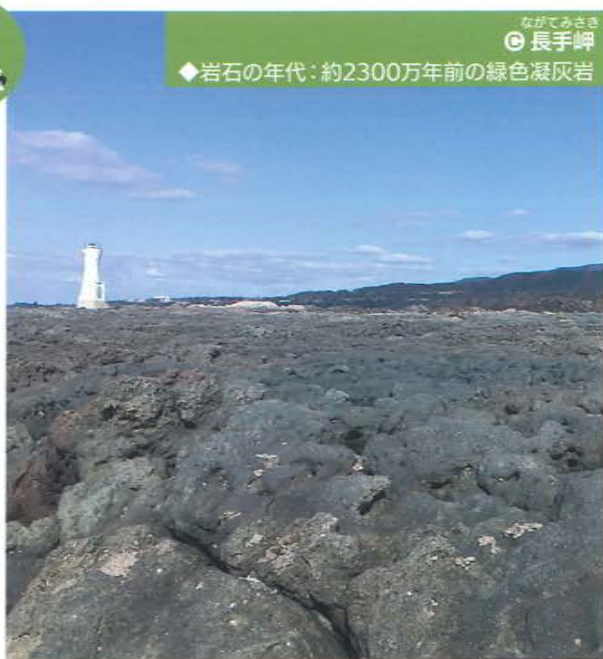
# 3 億年の旅とひとの暮らし

トキが舞う金銀の島





① 緑色の陸地が現れた!



緑色のごつごつした平らな土地は、ちょっと前までは海の底にありました。大きな地震が起こって土地が持ち上がり、海面上に顔を出しました。このような地形を隆起波食台と呼んでいます。

② 高くなり続ける階段地形(段丘)



新たに陸となった隆起波食台は、地震のたびに高さを増していきました。それと同時に新たな隆起波食台が生まれます。この繰り返しが階段状の地形となり、平らな面は現在広い田んぼになっています。

ながてみさき  
◎長手岬

◆岩石の年代：約2300万年前の緑色凝灰岩

③ 寒いけど、賑やかな浅い海の世界



深海は、繰り返される地震によってどんどん浅くなり約100万年前には水深数十mの浅い海底となりました。寒流が流れる冷たい海でしたが、たくさんの生き物が賑やかに暮らしていました。

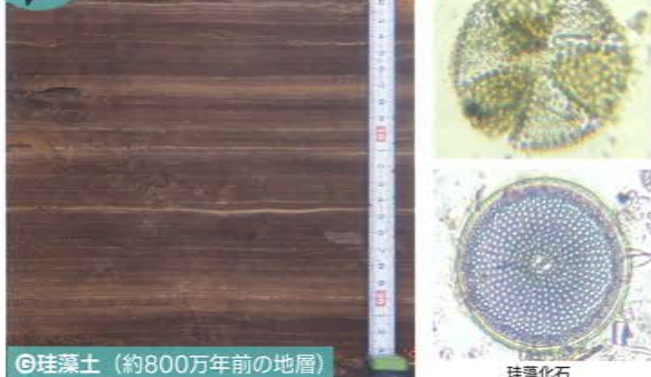
④ ストライプ模様の地層は化石の宝庫



貝立層の時代から続く冷たい海の海底に、土砂が流れ込むことで泥と砂の地層ができました。このような流れ込みが何回も繰り返されたのできれいなしま模様となりました。



海の時代 珪藻土は深い海でつくられる



◎珪藻土(約800万年前の地層)  
深海2000mもの漆黒の闇の中で、静かにゆっくり珪藻の殻が積もりました。年に1mmにも満たない堆積速度でした。